

令和6年度 第3回中央市地域公共交通活性化協議会 議事録

日 時：令和6年12月20日(金) 午後1時30分～

場 所：中央市役所本館 2階 防災対策室1

出席者：13名（欠席者：5名）

赤岡会長 橋田委員 池田委員 菊島委員 沼尾委員 窪田委員
北田委員（代理：重田氏） 鈴木委員（代理：服部氏） 矢野委員（代理：浅川氏）
古屋委員 齊藤委員 伊藤委員 加藤委員
（事務局：今福課長・二階堂主任）

会議概要

1 開 会

2 会長挨拶

3 議 題

（1）中央市デマンド交通実証運行について

（株）ケー・シー・エスより実施計画（骨子案）に基づき、説明。

○質 疑

委員 A

質：乗降ポイントについて、すべてのごみ収集所を乗降ポイントにするのか。

運賃について、乗る場所によっては目的地の距離が極端に違う場合があるが、
距離と利用料金については一定にするのか。

車椅子を使う人などの想定はしているのか。

予約方法におけるアプリの利用について、なりすましや、いたずらなどの懸念
があるが、何か対応を考えているのか。

答：乗降ポイントについては、市内のごみ収集所は500～700箇所ほどあるため、
すべてを乗降ポイントとするわけではなく、位置的バランスを鑑みポイントを
調整していく。

運賃については今の計画の中では、距離に関係なく500円均一とする。事例と

してエリアをある程度設定して、エリア超える場合にはプラス 200 円、300 円といった設定はできるが、今回は 500 円均一で考えている。

車いす利用者や障害をお持ちの方については、すでに福祉部門でおこなわれている輸送サービスもあることから、今回の計画の中では「自身で車両への乗降が可能な方、もしくは介助者同伴による乗降が可能な方」として設定した。

アプリについては、現段階では、どのようなものを導入するか具体的に決まっていないが、アプリを登録する際に電話番号や氏名を登録する仕組みとなっているので、いたずらについては発生しにくいものとする。

委員 B

質：アプリ利用の際にスマートフォンが必要になってくると思うが、私の周りの高齢者の方は半分以上スマートフォンを所持していないこともあり、スマートフォン非所有者に対する予約方法には配慮が必要と感じる。

デマンド交通の利用に際しては事前登録が必要か。

アプリの利用について各地域で説明会等を行うとのことだが、スケジュールは。

答：予約方法について、将来的にはアプリ予約に集約していきたいと考えているが、実証中にアンケートを実施し、スマートフォンの保有率なども調査しながら予約方法の一元化の可否についても検討していく。

利用にあたっては事前登録制を考えている。一度登録するとことで、以降の登録作業は不要となる。

アプリ等説明会のスケジュールについては導入の 1~2 か月前に各地域で実施することを予定している。

委員 B

質：最終的に電話予約については、残していく方針という解釈でいいか。

答：実証運行の中でアンケート調査等を行い、検討していく。

基本的には市民の皆さんの利便性や費用対効果を鑑み検討する。

委員 C

質：デマンド交通を道路法 21 条に則って実施するとのことだが、実証期間中はとまチュウバスの運行は止めるのか。

補助金の関係上、完全に切り替えた場合にはとまチュウバスの補助金が出なくなる可能性があるので確認したい。

答：明確には決まっていないが、一定の併用期間を設ける予定。

補助金については適宜、運輸支局に相談する。

委員 D

質：自宅近くから自宅近くへの利用を不可としているが、制限の方法を考えているのか。

乗り合いになる場合、先に予約した人と、後から予約した人の距離や到着時間などに制限はあるのか。

配車について、人が行うのか A I システムが行うのか。

答：制限の仕組みについて、アプリの場合は区間（目的地）を選択できなくする設定が可能。電話予約の場合は、オペレーターから予約できない区間として伝える形になる。

乗合い条件について、アプリ（A I）の場合は適宜設定が可能。先に予約した人にはある程度余裕を持った到着時間が伝えられるので、到着時間の範囲内であれば後から予約する人は予約が入れられる。到着時間（余裕時間）も適宜調整ができ、30 分や 20 分など具体的な時間は実証期間内で調整していく。

配車は A I システムの導入を検討している。

委員 E

質：予約については何分前から予約が可能か。また電話予約については 15 時 30 分までとなっているが、運行が終わるまで予約可能にならないのか。

答：電話予約については 30 分前から予約可能。アプリについては導入システムや設定にもよるが、24 時間予約ができ、直前でも予約可能なものを想定している。

委員 F

意：他自治体の事例では電話での予約が多いことから、受付時間を長くするなど電話予約に重点を置いた受付の仕方を考えてもよいのではないか。

答：現状では運行時間を8時～16時を想定しており、前30分を受付時間としている。実証の受付時間はこの形でスタートし、アンケートなどを取って適宜修正していく考えでいる。

●まとめ

デマンド交通の実施計画（骨子案）に対する本日の意見を踏まえ、実施計画（案）としてとりまとめ、次回協議会において提示させていただく。

(2) 令和6年度地域公共交通確保維持改善事業の事業評価について
事務局より【資料1】に基づき、説明。

○質 疑

なし

委員より異議なし 【承認】

(3) その他

事務局より

・第4回協議会の開催時期は未定。開催が決定したら通知を送る。

3 閉 会